

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

B型慢性肝炎のHBs抗原セロコンバージョン（HBs抗体出現およびHBs抗原消失）に対する核酸アナログ製剤の効果を規定する要因の解析

1. 研究の対象

2002年4月1日から2023年7月31日までの間に、当院の消化器内科でB型慢性肝炎に対して核酸アナログ製剤(ゼフィックス®、ヘプセラ®、バラクルード®、テノゼット®、ベムリディ®)の治療を受けられた方

2. 研究実施期間

東海大学医学部附属八王子病院院長の許可日 から 2024年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的：診療情報を利用し、B型慢性肝炎に対する核酸アナログ製剤の効果(肝炎の沈静、抗体の出現、ウイルスの減少等)を解析し、薬剤の効果に有益に働く要因を明らかにすることを目的としています。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報等：診断名、投与開始時年齢、性別、血液検査結果等

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5024）
研究責任者・問い合わせ担当者 消化器内科 講師 広瀬 俊治